

～はじめに～

岩手県立大学は、県民の皆様を支えられて、まもなく開学20年目を迎えるようとしております。

本学は開学以来、地域に根ざし、開かれた県民の大学として、教育・研究活動に取り組んで参りました。

今年度の滝沢キャンパス講座では、「いわての未来を考える」をテーマに、地球温暖化と南極の関係や人口減少社会における地方創生、さらにはこれからの情報化社会や岩手ならではの工芸品づくり、看護のあり方など、世界、日本、そして岩手の未来について、学内外の講師から専門的な立場でお話いただきました。

また、宮古キャンパス講座では、宮古短期大学部を会場に「宮古の未来を考える」をテーマに、若い世代のアイデアを生かし、宮古市の地域活性化に資するため、二つのグループから発表いただき、市民や学生の方々と活発な意見交換を行うことができました。

皆様におかれましては、参加できなかった講座についても、ぜひ御一読いただければ幸いです。

今後も皆様の声を参考にしながら、地域に貢献する大学としての役割を果たして参りたいと考えておりますので、引き続き御支援・御協力賜りますようお願い申し上げます。

平成29年3月

岩手県立大学 学長 **鈴木 厚人**